

資料提供（教育庁）

令和8年1月20日

令和7年度 文化財保存活用セミナーについて

本セミナーは、文化財防火デー（1月26日〈昭和24年法隆寺金堂壁画焼損の日〉）と時期をあわせ、県や市町村の文化財保護行政の関係者や文化財に関心のある県民が集い、地域の文化財を次世代へ継承するために、文化財の保存と活用について共に考える場として、毎年開催しているものです。

本年は、下記のとおり開催いたしますので、貴紙誌面・局において、御紹介賜りますようお願いいたします。

記

- 1 主催 茨城県教育委員会
- 2 日時 令和8年2月4日（水） 13:30～16:00 ※受付 13:00 より
- 3 会場 茨城県立歴史館講堂（水戸市緑町2-1-15）
- 4 内容 令和7年度 茨城県教育委員会表彰等
令和7年度 茨城県指定文化財指定書交付式
基調講演「無形の民俗文化財の保存・継承と活用に向けて」
講師：文化庁文化財第一課 玄蕃 充子（げんば・あつこ）氏
実践報告「「常陸大津の御船祭」をめぐる保存と活用の試み」
講師：北茨城市教育委員会生涯学習課 早川 麗司（はやかわ・れいじ）氏
- 5 参加方法 事前申込
- 6 定員 150人（申込順）

【問い合わせ先】

教育庁総務企画部文化課 有形・無形文化財 石井 電話 029-301-5449

基調講演 無形の民俗文化財の

保存・継承と活用に向けて

講師 文化庁文化財第一課（民俗文化財調査官）

玄蕃 充子（げんば・あつこ）氏

民俗文化財の保護制度や保護の考え方、そして無形の民俗文化財とはどのような文化財か。全国的な課題である保存・継承と活用のあり方も含め、茨城県の祭りや行事を具体的な事例として取り上げながら、わかりやすくご講演いただきます。

実践報告 ひたちおおつ おふねまつり 「常陸大津の御船祭」をめぐる

保存と活用の試み

講師 北茨城市教育委員会生涯学習課

早川 麗司（はやかわ・れいじ）氏



昨年12月にユネスコ無形文化遺産に登録された「常陸大津の御船祭」では、5年に一度、5月2日に「宵祭（よいまつり）」、5月3日に「本祭（ほんさい）」が開催されます。今回は、令和3～4年度に実施された新祭事船（しんさいじせん）建造の国庫補助事業と、保存会の活動のうち、特に御囃子（おはやし）に着目し、同祭に係る保存・継承の今後の課題についてご報告いただきます。

（写真提供 北茨城市教育委員会提供）